

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成20年2月1日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

需要面・・・住宅建設は持ち直しの動きもみられるが、公共投資などで弱い動きが続いている。大型小売店販売額は前年を下回ったが、ホームセンター・家電量販店販売額は前年を上回った。(11月)
新設住宅着工戸数は前年を上回ったが、乗用車新車新規登録台数、用途別着工建築物工事金額、公共工事請負金額は前年を下回った。(12月)

産業面・・・一部に弱い動きが見られるが、おおむね横ばい圏内の動きとなっている。鉱工業生産指数は季節調整済指数が前月を上回り、原指数は前年を下回っている。(11月)

雇用面・・・一部に持ち直しの動きも見られるが、有効求人倍率は厳しい状況が続いている。現金給与総額、所定外労働時間とも前年を上回った。(11月)
求人倍率は、新規は前月と同水準となったが、有効は前月を下回った。(12月)

需要面の動き

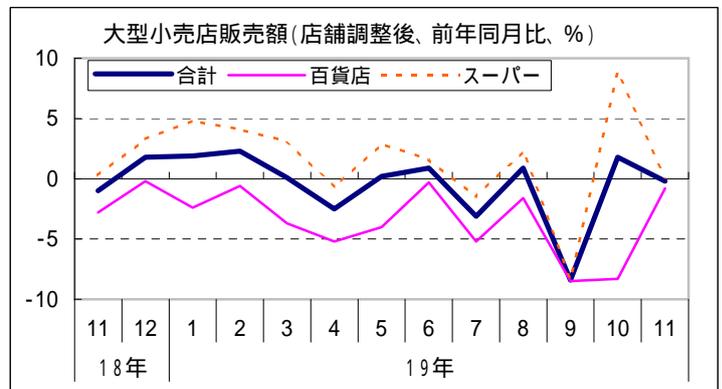
大型小売店販売額(11月)

全店舗の販売額は、56億1,998万円(前年同月比0.2%減)と2か月ぶりに前年を下回り、店舗調整後でも2か月ぶりに前年を下回った。

販売額及び前年同月比

| | 販売額(万円) | 前年同月比 |
|------|---------|-----------|
| 合計 | 561,998 | 0.2 (0.2) |
| 百貨店 | 231,308 | 0.8 (0.8) |
| スーパー | 330,690 | 0.1 (0.1) |

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(11月)

35億8,587万円(前年同月比9.8%増)と2か月続いて前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(12月)

1,436台(前年同月比7.5%減)と3か月続いて前年を下回った。
減少の内訳では、軽自動車の減少(前年同月比12.8%減)が大きかった。

新設住宅着工戸数(12月)

275戸(前年同月比8.7%増)と2か月ぶりに前年を上回った。増加の内訳では、持家の増加(前年同月比13.0%増)が大きかった。

用途別着工建築物工事金額(12月)

8億9,113万円(前年同月比43.9%減)と2か月続いて前年を下回った。用途別では、医療、福祉用(前年同月比80.9%減)等が前年を下回った。

公共工事請負金額(12月)

49億1,800万円(前年同月比23.4%減)と6か月続いて前年を下回った。発注者別の内訳では、県の減(前年同月比47.8%減)が大きな割合を占めた。

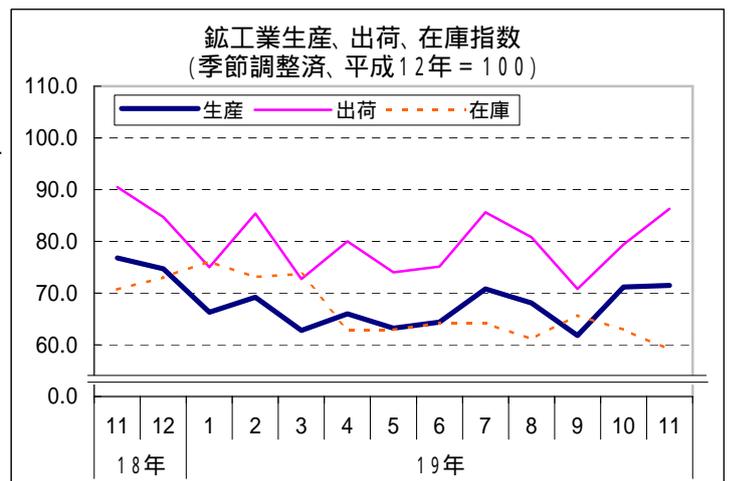
産業面の動き

鉱工業指数(11月)

生産指数(季節調整済)は71.5(前月比0.4%上昇)と2か月続いて上昇し、原指数は78.0(前年同月比6.0%低下)と11か月続いて低下した。

内訳を前月比で見ると、電気機械が通信機械器具等の生産増により7.1%上昇、食料品・たばこが3.3%低下、一般機械が22.6%低下、繊維が15.7%低下した。

在庫指数(季節調整済)は59.1と前月比6.0%低下した。



大口需要電力実績(11月)

137,596千kwh(前年同月比1.9%増)と3か月続いて前年を上回り、鉱工業はパルプ・紙等が増加し3.0%増加した。

青果物卸売量(12月、鳥取市場)

野菜が1,482t(前年同月比3.3%増)と4か月ぶりに前年を上回り、果実も1,274t(前年同月比16.6%増)と2か月続いて前年を上回った。

漁獲量(12月、境港)

11,114t(前年同月比26.9%減)と3か月続いて前年を下回った。

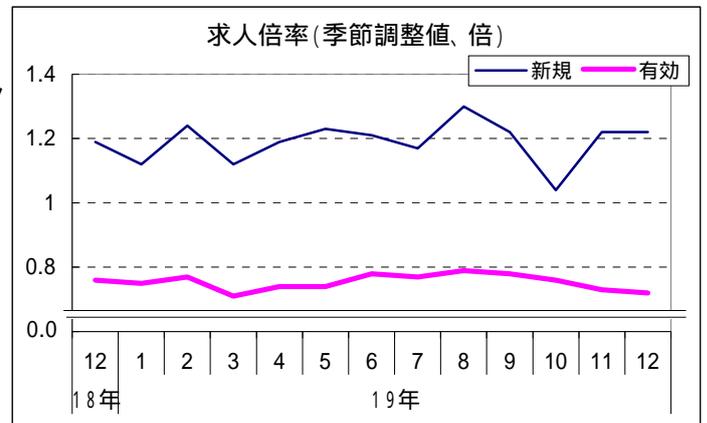
雇用・金融面の動き

新規求人倍率(12月)

1.22倍(前月と同水準、前年同月差0.03ポイント上昇)であった。なお、新規求人数は、3,141人(前年同月比5.4%減)と3か月続いて前年を下回った。

有効求人倍率(12月)

0.72倍(前月差0.01ポイント低下、前年同月差0.04ポイント低下)と9年10か月続いて1.0倍を割っている。
また、4か月続いて前月を下回っている。



現金給与総額(11月)

266,406円(前年同月比3.3%増)と5か月続いて前年を上回った。そのうち、きまって支給する給与は、253,728円(前年同月比1.5%増)で6か月続いて前年を上回った。

所定外労働時間(11月)

9.5時間(前年同月比4.0%増)と6か月続いて前年を上回った。主力の製造業は10.2%減となった。産業別の前年同月比では、複合サービス事業(前年同月比142.7%増)等で前年を上回り、電気ガス水道業(前年同月比32.9%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(11月末)

預金残高は、1兆8,643億円(前年同月比1.1%増)と15か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,373億円(前年同月比1.4%減)と15か月続いて前年を下回った。

参考

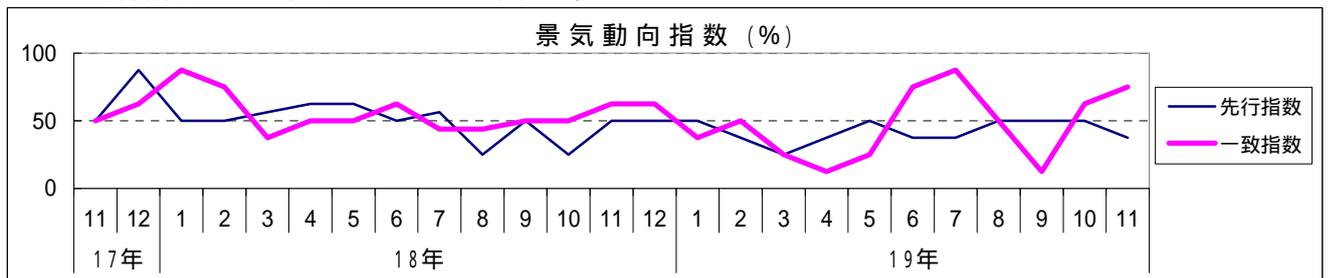
鳥取県景気動向指数(11月)

先行指数37.5%、一致指数75.0%、遅行指数60.0%となった。

先行指数は4か月ぶりに50%を下回った。

一致指数は2か月続いて50%を上回った。

遅行指数は4か月続いて50%を上回った。



企業倒産(12月)

件数は3件(前年同月比40.0%減)で2か月続いて前年を下回り、負債総額は34億8,100万円(前年同月比891.7%増)で3か月続いて前年を上回った。

消費者物価指数(12月、鳥取市、総合、平成17年=100)

100.4となり、前月比(0.6%上昇)は2か月続いて上昇し、前年同月比(1.2%上昇)も2か月続いて上昇した。

鳥取県の推計人口(1月1日現在)

599,374人で、前月と比べて385人(0.06%)減少し、前年同月と比べて4,269人(0.71%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成19年11月調査)

平成20年1～3月期は、平成19年10～12月期に比べると景気、売上高、経常利益の全てがきわめて不調となる見通しとなっている。